

地域包括ケアニュース

新型コロナウイルスにより、自粛生活が続いており、これまでとは違った環境での業務、生活が続いています。私たちにできることを考えながら、新しいことにチャレンジしていきましょう！

報告

令和2年度自立支援型地域ケア会議開催について

県内の自立支援型地域ケア会議も今年度で4年目を迎えます。今年度より、モデル事業から市町村での運営となり、開催回数や専門職への依頼の仕方や派遣内容について意見がだされてきています。「STは〇〇病院へ依頼する」という市町村もあったり、「STは歯科衛生士と交互」「STは歯科衛生士で対応する」というものがあったりと市町村によって専門職への要望や対応が異なってきています。各市町村で求められているものをしっかりと提供できるよう、準備を進めていく必要があります。

また、検討ケースの数は、令和2年度は2ケースのところが多いようです。会議の開催回数は、12回を予定しているのが田村市、白河市、本宮市、会津美里町。開催未定が6町村、開催予定（決定次第、町村から直接依頼予定）が5町村、独自で専門職に依頼をする予定であるのが2町村となっております。

新型コロナウイルスの影響で中止や延期となる市町村もあります。委員、相談理事とご自身の地域がどのような状況になっているのかを確認し、変更があった際には必ず報告をお願いします。

開催回数 (予定)	市町村数
週1回(年間46回)	1
12回	4
8~10回	6
4~6回	15
3回	15
1~2回	5

令和2年度の各種研修会について

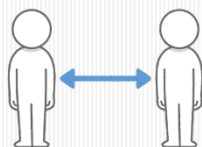
新型コロナウイルスの感染拡大の状況をうけ、今年度の導入研修は延期となっておりますが、8/2に開催することが決定されました。参加者は10名として、感染対策をしての開催となります。詳細は別紙をご参照ください。

地域包括ケア委員の変更のお知らせ

会津 地域で委員(副委員長)を務めていた齋藤佐和さん(エミネンス芦ノ牧)、県北地域の佐藤由希さんが産休育休となります。代わりに会津地域は室野井貴子さん(会津中央病院)、県北地域は1名体制で今年度の委員を務めます。各地域では、連絡体制の確認をお願いします。尚、副委員長は大野真稔さん(訪問リハビリテーションきぼう)が務めます。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

地域	地域包括ケア委員	相談理事	支部長
県北	大野真稔 (副委員長)	志和智美	安斎未来
県中	會田梨恵 佐藤伊久生	山田奈保子	大竹葉子
県南	大竹樹美	鈴木陽子	郡司淳実 (代理)
会津	室野井貴子	阿久津由紀子	大平素子
いわき	板東竜矢 (委員長) 金成香里	板東竜矢	板東竜矢
相双	熊谷大	志和智美	熊谷大

自立支援型地域ケア会議が始まりました



県南地域では、新型コロナウイルスの感染者が少なく、白河市では5月から自立支援型地域ケア会議が始まりました。昨年度3月、4月の会議が中止となりましたが、

5月はソーシャルディスタンスで距離をとり、2症例を検討しました。入室の際にアルコール消毒、会議の中間には換気を行い、対策を練った会議となりました。病院受診を控えているために、痛みが悪化していること、難聴によりコミュニケーションが負担になっているケースでした。マスク装着によるコミュニケーション環境の影響について説明と工夫について伝えました。





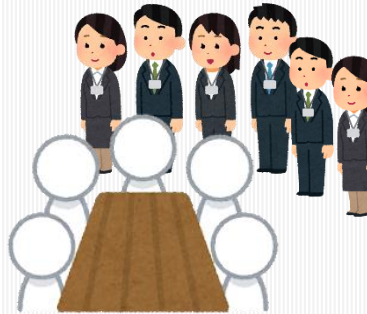
地域包括ケアニュース

報告

令和元年度地域包括ケア委員活動報告

1. 自立支援型地域ケア会議視察

昨年度も山形県、大分県への視察を行いました。大分県杵築市には、地域包括ケア委員の大野さんが代表として参加し、先進地の会議を見学してきました。



視察地	人数
大分県杵築市	1名
山形県山形市	5名
” 天童市	6名
” 長井市	3名
” 南陽市	2名

2. 地域リハビリテーション活動支援推進のための人材育成事業

【初期研修】 県内6か所で行われた初期研修は、台風19号の影響により日程が大きく変更されましたが、無事に6か所での研修を終えることができました。地域包括ケアコースでは36名、介護予防コースは35名の参加でした。今年度は、介護予防リハビリテーションテキストが大野副委員長、佐藤伊久生委員、板東委員長(編集)を中心に作成され、今後皆様のお手元に届くよう検討しています。

【導入研修】 宮城県と合同で行われました。R1/7/20地域包括ケア推進コース(福島市)に19名の参加、8/3の介護要望推進コース(仙台市)に16名の参加がありました。

3. 自立支援型地域ケア会議

令和元年度に自立支援型地域ケア会議に助言者として出席した人数は、**49**名となりました。今年度は、さらに増えて53名(モデル市町村)となる予定です。自立支援型地域ケア会議が始まった平成29年度は実施市町村も13、助言者も16名でした。3年間で助言者も3倍に増えています。今後も皆さんの活躍の場が多くなります。自己研鑽を続けながら、地域から求められるSTになりましょう！

新型コロナウイルスの影響で、自立支援型地域ケア会議を中止する市町村もあります。ご自身の参加する市町村の開催の確認を行い、委員への連絡をお願いいたします。



Stay Homeの取り組み

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、外来リハビリテーションやデイケア利用の自粛などにより、リハビリを継続できずにいる方もいらっしゃるかと思います。生活のリズムが乱れ、リハビリや運動、コミュニケーションの場が減ることで、フレイルに陥ることも懸念されました。

白河市にある施設では、デイケアの利用を自粛された方に普段からしているリハビリ内容、市販の脳トレプリント、デイケアスタッフの写真と名前一覧等を郵送にて送付しました。体温や体調、食事内容などをチェックする用紙も作成し、休み中の生活を確認できるようにしました。自粛を終えて、利用を再開した際に持参していただき、お休み中の生活について確認をしました。

チェック表を確認することで、利用者さんの活動内容や栄養状態について情報を得ることができただけでなく、利用者さん側も“つながっている”という気持ちを持つことができ、社会的孤立を防ぐことができました。皆さんの職場では、どのような工夫、対応をしましたか？

チェック項目	例	日付		
		4/27	4/28	4/29
	○/○	月	火	水
○体温を測定している	35.8			
○朝、同じ時間に起きている				
○ごはんを3食食べている				
○散歩や畑仕事、買い物をしている				
○体操をしている				
○もらったプリントをしている				
○お昼ご飯のメニューを書きましょう	おにぎり 煮物 焼き鳥			

(スタッフの)皆さんの顔を写真でみれて嬉しかった

生活にメリハリがついた

